



ハート照らす ろうそく100個

帯広市の観光スポット・

幸福駅で14日、駐車場にあるハート形モニュメントを照らす「幸福駅Happyキャンドルライトアップ」が開かれた。バレンタインデーの夜、参加者がそれぞれの願いを込めてキャンドルに点灯。100個のキャンドルの温かな光を浴びるモニュメントの前で、記念撮影を楽しんだ。

就労支援事業所「幸福村」を運営するカンナ・カンナ（帯広、三浦直美代表）が、「恋人の聖地」である同駅の活性化を目指し初めて開催。5日に市内や大樹町などから22人が参加し、キャンドルを載せる器となる「ワックスボウル」を製作。

添えたワックスボウルをモニュメントの周囲に設置した後、キャンドルに火をともした。参加者にはホットココアや豚汁が振る舞われた。

「ワックスボウル」を製作。ライトアップ当日の14日は地元幸福町の住民ら約30人が集まった。

幸福町の農家竹腰裕美さん（50）は「キャンドルがたくさん並ぶときれい」と感激した様子。カンナ・カナの三浦代表は「地域の人のサポートもあって開催できた。来年以降も続けていけたら」と笑顔で話していた。

参加者は初めに、願いや感謝の思いをメッセージカードに記入。メッセージを

添えたワックスボウルをモニュメントの周囲に設置した後、キャンドルに火をともした。参加者にはホットココアや豚汁が振る舞われた。

幸福駅のハート形モニュメントの前でキャンドルを囲む参加者

撮影を楽しんだ。

カードに記入。メッセージを

添えたワックスボウルをモニュメントの周囲に設置した後、キャンドルに火をともした。参加者にはホットココアや豚汁が振る舞われた。

（中島佑斗）